

周南市過疎地域自立促進計画の構成

(基本的方針)

1 基本的な事項

周南市の概況

自然的条件

・地勢・地理的状况・気候

歴史的条件

・今までの市町村合併

社会的・経済的条件

・アクセス、産業、経済

過疎の状況

・人口の動向、今後の見通し等

人口及び産業の推移と動向

昭和35年～平成17年までの国勢調査(年齢別)人口の推移

産業別人口の推移、比率

行財政の状況

行政組織の状況

旧鹿野町の財政状況及び周南市の財政状況

施設整備水準の現況

地域の自立促進の基本方針

[鹿野地域の将来像]

社会経済発展の方向

「鹿野ならではの価値 = 地域資源(強み)」を活かした地域振興を展開

・交通の要衝 ・豊かな自然環境

・農林産物 ・観光資源 ・文化・歴史等



都市との交流 販路の開拓 ツーリズム

人材育成 組織づくり など

“いのち育む里づくり”プロジェクト

持続可能な地域の運営体制づくり

安心して誇りをもって暮らせる地域づくり

地域資源を活かした好循環づくり

生活・産業基盤の整備

“いのち育む里づくり”に向けた役割分担

計画期間

平成22年度～平成27年度(6箇年)

【特別事業(ソフト事業)の展開】

産業の振興

・農林業地場産業の振興

・地場産業の振興

・観光・レクリエーションの振興

集落の整備

・地域コミュニティの充実

(現況と問題点、その対策、計画)

2 産業の振興

農業 林業 地場産業 商工業 観光・レクリエーション

3 交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進

道路 交通機関 情報化 地域間交流

4 生活環境の整備

水道施設 下水道施設 廃棄物処理施設 消防防災 住宅

5 高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進

高齢者福祉 児童福祉 障害者福祉

6 医療の確保

地域医療・救急体制

7 教育の振興

学校教育 幼児教育 生涯学習 スポーツ

8 地域文化の振興

文化財等の保存と伝承 文化活動の推進

9 集落整備

持続可能な地域の運営体制づくり 集落の担い手の確保

10 その他地域の自立促進に関し必要な事項

自然エネルギー